

オール電算協同組合が ビジョンを作成しました

オール電算協同組合（増田勝彦理事長）では、平成26年度 大阪府組合等事業向上支援事業「ビジョン・中期計画作成支援」を活用して、本ビジョン策定に至りました。

1. 組合事業内容

当組合には国内事業部と国際事業部があります。国内事業部は高速道路ETC事業、国際事業部は外国人技能実習生受入事業を行っています。

| 高速道路ETC事業 | 外国人技能実習生受入事業 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">●国内事業部では、高速道路ETC事業を行っている。当事業では、「ETCコーポレートカード」、「UC ETCカード」を取り扱っている。<ul style="list-style-type: none">●ETCコーポレートカード<ul style="list-style-type: none">・東/中/西日本高速道路株式会社より発行される料金後払いのETCカード。・法人または 個人事業者が対象。全国の高速道路又は有料道路等で利用可能。●UC ETCカード<ul style="list-style-type: none">・当組合の提携会社より発行される、料金後払いのETCカード（クレジット機能はなし）。・全国の高速道路又は有料道路等で利用可能。 | <ul style="list-style-type: none">●国際事業部では、外国人技能実習生受入事業を行っている。当事業では以下等の運営を行っている。<ul style="list-style-type: none">●講習用の研修センターと提携し、専門の教育スタッフが教育プログラムを実施している。●入管法令・労働関係法令・不正行為への対応等に精通した専門講師の要請・手配をして、講習の適正な実施を支援している。 |

2. 事業機会とリスクからみる重点課題

| 事業機会 | リスク |
|---|---|
| <p>外国人技能実習生受入事業において、以下の事業機会があります。</p> <ul style="list-style-type: none">◎制度が見直しされる。<ul style="list-style-type: none">・介護という新たな職種が追加される。・在留年数の3年から5年への延長が検討されている。○ベトナムからの実習生が増加している。 | <p>外国人技能実習生受入事業において、今後以下の事項がリスク要因となりうると認識しています。</p> <ul style="list-style-type: none">○今後は、新たに設置される国の監理監督機関による抜き打ちなど検査が厳しくなる見通しである。○実習生の出身国の経済成長によって、実習生の確保が難しくなる懸念がある。○実習生の出身国の経済成長に伴い、実習生のモラルの低下や来日に対する動機の変化が見られる。 <p>また、高速道路ETC事業では以下のリスク要因がある。</p> <ul style="list-style-type: none">○競合の激化による組合員企業の減少の懸念がある。 |

事業機会とリスクからみる重点課題

- 介護職という新たな職種追加という事業機会については、介護施設の要望を聞き、事業として取り組めるかどうかを検討していくことが必要である。
- 今後の事業環境の大きな変化に耐えるように、**安定運営が可能なように、事業体制を強化**することが重要である。
- 競合との競争の中で、組合員を維持していくために、**組合員満足度の高い組合**としていくことが重要である。

